



J・A・C

日本山岳会山形支部

平成6年6月 第7号

事務局長 真田 匡三

事務局 山形市和合町2-3-7

エベレスト山麓トレッキング報告特集



日本山岳会山形支部

エベレスト山麓トレッキング報告書

期 日 平成5年12月28日〔火〕～平成6年1月5日〔水〕

トレッキング地名 ネパール王国 エベレスト山麓 標高4,000M

トレッキングコース カトマンズ～シャンボジェ〔エベレスト山麓トレッキング〕
～シャンボジェ～カトマンズ

参 加 者

隊 員	氏 名	年 齢	住 所	電 話 番 号
隊 長	梅 津 博	62	山形市小白川町4-17-11	0236-32-5827
副 隊 長	松 田 孝 一	61	藤島町字村東24-9	0235-64-2862
副 隊 長	菊 地 俊 彦	60	山形市宮町4-23-27	0236-41-4236
隊員(装備)	長 岡 伸 恭	53	山形市下条町5-8-16	0236-84-8149
隊員(食料)	會 田 茂 雄	52	山形市東原町2-4-25	0236-24-0447
隊員(記録)	東海林 敬	48	山形市山家町1-3-18	0236-32-2630
マネージャー	三 浦 繁 司	44	山形市大字下楯沢521-1	0236-45-2958

行 程

月 日	時間	摘 要
12/28(火)	20:08	山形駅発 (仙山線 快速仙山16号)
	21:13	仙台駅着
	22:40	仙台駅前発 (京成電鉄・宮城交通 深夜バス ポーラースター)
12/29(水)	06:30	成田空港着
	09:40	成田空港発 (大韓航空チャーター便 KB-705)
	11:50	ソウル空港着
	12:40	ソウル空港発 (大韓航空チャーター便 KB-6615)
	17:30	カトマンズ空港着 (標高1,400m ガイド 出迎え)
	17:30	カトマンズ空港発 (専用車・カトマンズ市内シェルパ・ホテル泊)
12/30(木)	午前	カトマンズ空港発 〔小型飛行機〕

帰 路

01/04(火)	16:00	シェルパ・ホテル集合 発(専用車)
	19:00	カトマンズ空港発(大韓航空チャーター便 KB-6625)
01/05(水)	07:25	ソール空港着
	09:30	ソール空港発(大韓航空チャーター便 KB-706)
	11:30	成田空港着(帰国手続き後東京駅へ)
	14:28	東京駅発(つばさ131号)
	17:21	山形駅着(到着後解散)

留守本部 990 山形市和合町2-3-7 真田匡三方 日本山岳会山形支部
 TEL・FAX 0236(41)4736

連絡先 990 山形市和合町2-4-6 大橋克也(日本山岳会山形支部長)
 TEL 0236(24)8696
 TEL 0236(22)3550(勤務先)



ひとこと

隊長 梅津 博

時間的に制約をうけている人の多い中で、どれくらいのヒマラヤ計画をできるかは疑問でもあり、懸案でもありました。

結果的には展望の旅になってしまったのはやむを得ないことと思っております。しかしつい最近の山のグラビアにヒマラヤトレッキングとして今回我々の行った地点あたりから逆にルクラの下までの徒歩による旅行が出ておりましたのには考えさせられました。

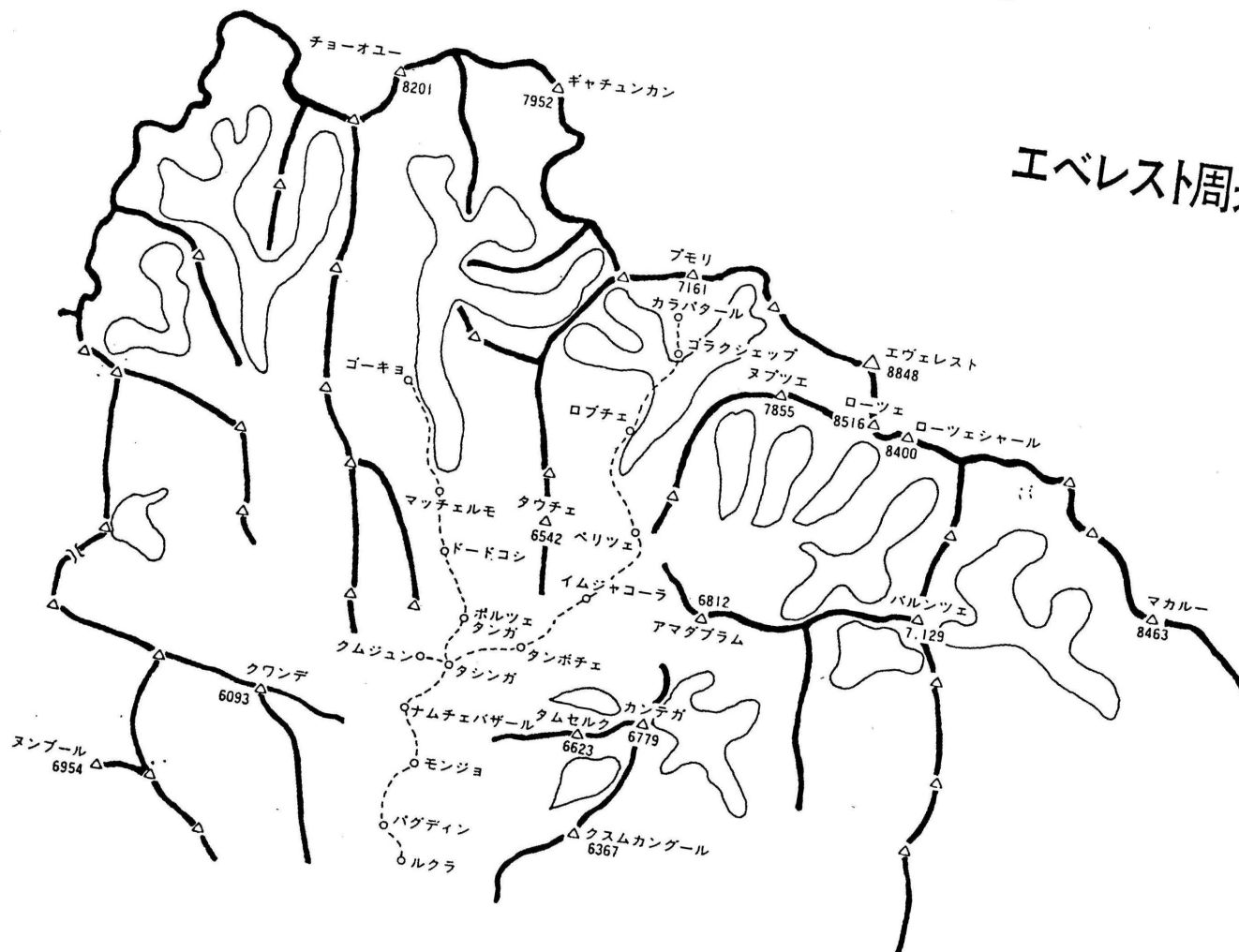
今回の経験で得られた貴重なものはなんといっても高度による障害だったと思います。高度障害というものを実際に体験してこんなにひどいものとは考えませんでした。

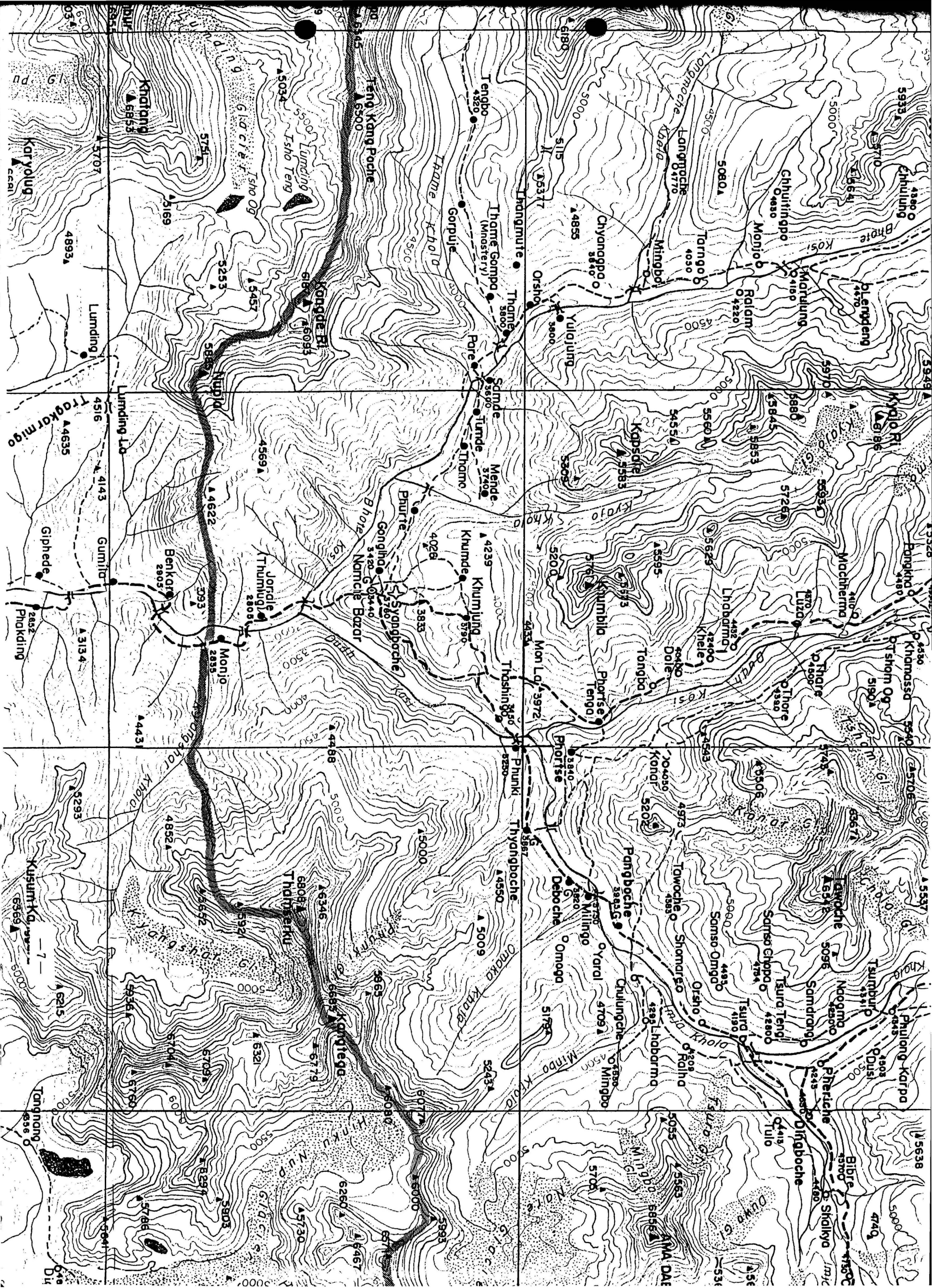
その外、食べもの、日常の生活などについても、これからの山に生かされるものがたくさんあったと思います。貴重な経験として一人一人のこれからの踏み石になればこれに過ぎるものはないと思っております。

短い日数の中で、ながい山の経験にまさるともおとらない山旅を与えてくださった隊員皆様と支部の方々にお礼を申し上げます。

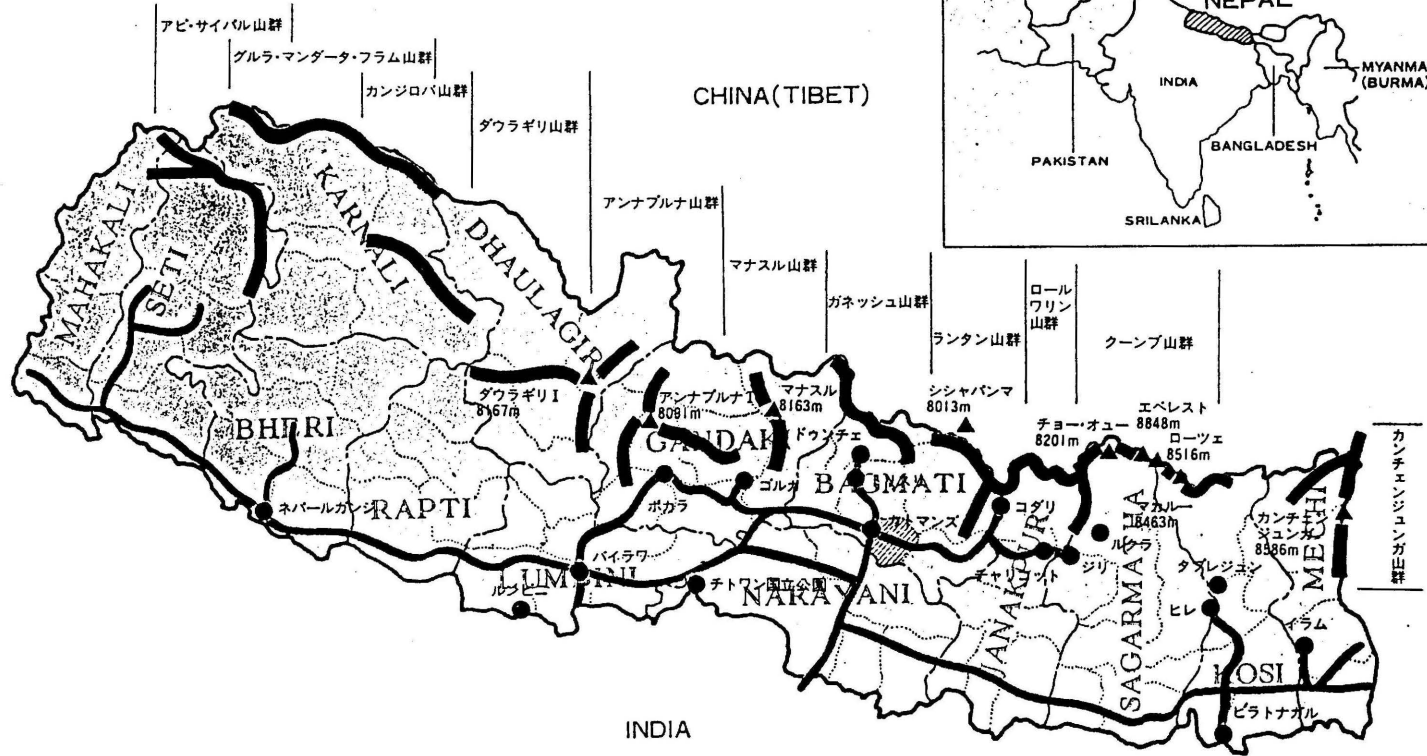
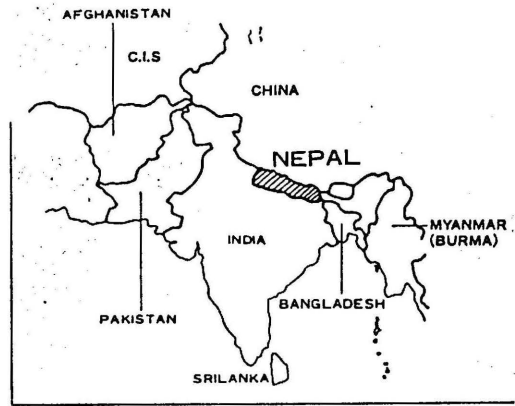


エベレスト周辺





CHINA(TIBET)



行 動 記 録

マネージャー

三 浦 繁 司

12月28日〔火〕

各隊員は仕事納めをし19:30山形駅に集合する。

22:40ポーラースター夜行バスにて仮眠し、成田南ウイングへと向かう。

12月29日〔水〕

成田空港よりKB-6615と乗り継ぎ、現地時間16:14にカトマンズ空港へ着く。気温23°C少々薄暗く感じられた。マイクロバスにてシェルパホテルへ。

今日はネパール王の誕生日の為、町にはクリスマスのようなモールランプが点灯している。シェルパホテルにて歓迎のパーティだけで食事がないので外に食事出掛けるが結局はマッサラティーだけを飲んでホテルへ帰る事になる。

21:00〔日本時間0:15〕

12月30日〔木〕

09:00 フロント集合。計画予定ではカトマンズよりナムチェバザールへ、ヘリで行く予定がカトマンズよりシャンボジェ空港まで7人乗飛行機という事になり一人10Kgの手荷物という事で丸々に着服れし飛行機に乗り込む。

11:05 マナスル南峰3,800m通過。

11:20 シャンボジェ空港3,740mへ無事到着。

ここで、ガイドのプルバー氏と出会い、一時間ほど高度順応する。その間、これからの行動の為の入山料、ビデオカメラの持込み料等支払いをし出発する。

12:55 サガルマタリゾートインターナショナルロッジ〔3,900m〕へ数回の休憩をしながら辿りつく。

たかだか100mの時間を掛けたゆっくりした歩きだったが息ぎれが激しい。気温4°Cである。高度順応の為に標高4,000mの高台に足ならしと出掛ける。頭、腰それに虫歯まで痛んでくる。酸素不足である。

平地の約60%位ではないか。

夕食はシェルパカレー。澄みきった空気の夜空には満天の星、土星、「馬頭星雲」等の多くの星座を見て、早めの就寝とする。夜中に頭が痛くて目を覚ます。水を飲むと痛みが直る様な気がする。寝袋に入るのも一苦労だ。なにせ動作が鈍くなり一息一息の動きで入り込む。

ヤ ク・・・・オ ス 食料になり皮は靴になる。

ナ ク・・・・メ ス

ヤフログ・・・・子 供

12月31日〔金〕

今日、日本では大晦日である。我々トレッカーは、ネパールラーメン、味噌汁、レモンティでの朝食である。外気温 -11°C 。

09:00 クンデー、クムジュンへのトレッキングに出発。

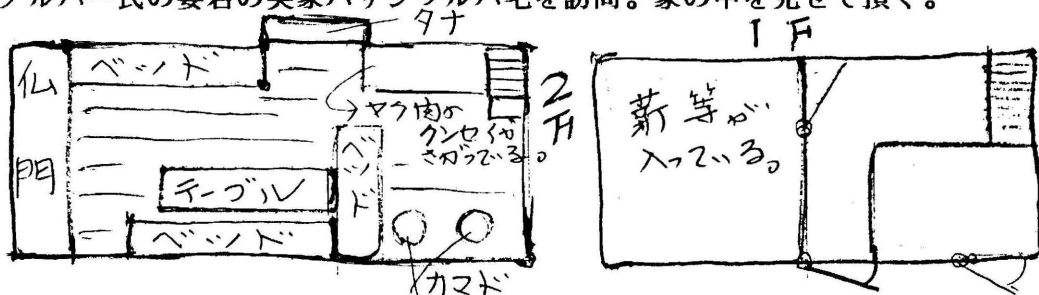
標高3,900。日本と同じ様に石楠花がある。ただし大きい。石で境界を囲った畑の中ではジャガイモを作っている。蕎麦も出来るそうです。

クンデー村は冬場に仏教巡礼に1~1.5ヶ月間位大人は出掛けるとの事。

クンデ村からクムジュンへと歩き、ヒラリーの水道、400年前の寺院を見

学。今も柱は丸太より長い鋸と^{ちうな}手斧削りを使っているとの事。

プルバー氏の妻君の実家パサンシルパ宅を訪問。家の中を見せて頂く。



仏門はマンダーラの絵に四方が囲まれ、棚には経文が納められている。

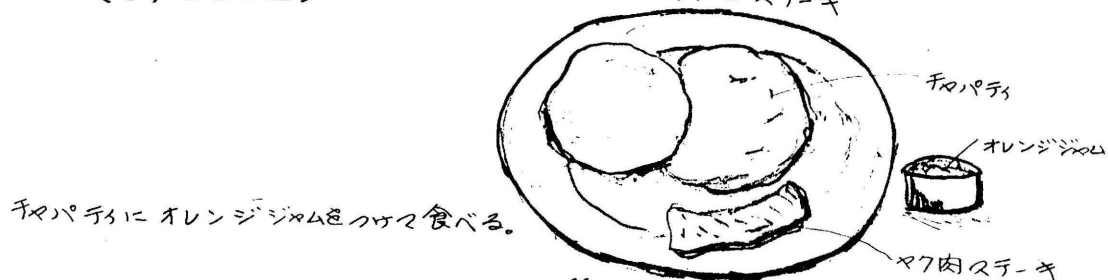
天井は竹で編んだもの、家の中央には太い柱が有り、白い布を垂れ下げ日本で云うなれば大黒柱であり、花の替わりであっう。

クムジュンでは旧正月に始まり12支、計画するとの話でした。女性の仕事は農業で男性は遊牧である。

エベレストビューホテルまでの登りは60mであるが、息がきれ大変である。

〔3,880m〕

昼食 チャパティとステーキ



チャーパティにオレンジジャムを付けて食べる。

エベレストビューホテルにて休憩し、サガリマタロッジへ全員無事帰る。

〔13:45〕

14:30 気温 -8°C

17:15 夕日が沈む。

17:40 気温 -14°C

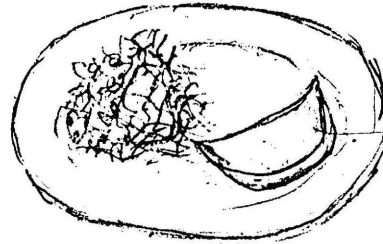
18:30 夕食

焼きソバとスプリングロール

20:15 就寝。

1994年1月1日〔土〕

夕食 焼きソバとスプリングロール



焼きソバ

スプリングロール
(チーズ入りギョウザ)

元旦であり、会田隊員の誕生日でもありお目出とう！

06:30 初日の出を待つ。

外気温 -18°C 。

ロッジ内 -5°C

ロッジの前には氷が張り、芝の葉に霜が氷ついてキラキラ光り美しく見える。

08:10 タムセルク右側より漸く日の出を仰ぐ。

本日の第3便でカトマンズへ帰る予定である。

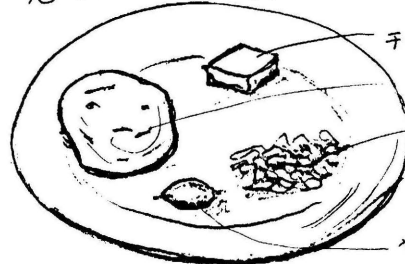
09:30 ロッジ出発。

10:10 シャンボジェ飛行場着。

ザックを飛行場におき、ナムチェバザールを滑走路より眺める。今日は風があり少々寒い。遅れ遅れで2便までフライトしたが3便は気流の関係で中止となる。もう1泊ロッジにお世話になる。隊員の顔も曇りがち、暖の薪を拾いながらロッジへと返る。13:00

18:30 夕食はネパールの小麦粉を練り、冷や麦の様に細く引き延ばしゆで、コンソメスープをかけ、おかずにはジャガ芋にカリフラワーの油いためでした。

元旦の朝食



チーズ

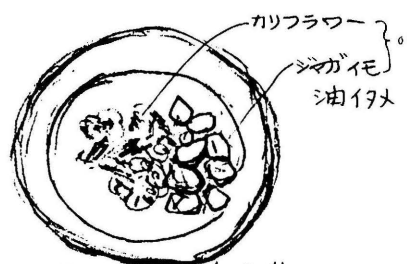
ホットケーキ

スプリングロール

マフのハツ(心臓)



日本風の麦に
コンソメスープをかけて食べる。あっさりして美味!!



カリフラワー

ジャガイモ

油いため

19:30 明日の天気を祈ってシェラフに潜る。

1月2日〔日〕

外気温 -16°C 、室内温 -5°C

滞在中の3日間で今日は一番天気が悪い様だ。エベレストには雲がかかっている。06:45

我々の乗るピラタスポーターがカトマンズを飛び立った旨の無線の連絡を聞きホッとする。09:00

09:50 一日遅れの飛行機に乗り安堵の気持ちとヒマラヤ山群との別れのつらさが交差する。

全員無事下山出来たので、旅行会社の東さんと昼食を一緒にとる。

カトマンズの日系の店で、日本料理と正月なので雑煮と決める。



支部会員の皆様の御支援により8ひ間のトレッキング、全員無事に帰ってまいりました事を御報告いたします。御協力ありがとうございました。

